



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月15日

東

上場会社名 株式会社サイエンスアーツ

上場取引所

コード番号 4412

URL <https://science-arts.com>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）平岡 秀一

問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名）松田 拓也（TEL）03(6825)0619

定時株主総会開催予定日 2025年11月27日

配当支払開始予定日 —

有価証券報告書提出予定日 2025年11月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期の業績（2024年9月1日～2025年8月31日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年8月期	1,654	39.7	107	—	92	—	112	—
2024年8月期	1,184	53.5	△31	—	△34	—	△31	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年8月期	14.32	14.30	12.0	6.1	6.5
2024年8月期	△4.84	—	△6.5	△3.7	△2.6

（参考）持分法投資損益 2025年8月期 —百万円 2024年8月期 —百万円

（注）2024年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年8月期	2,077	1,393	67.1	172.17
2024年8月期	953	476	50.0	72.39

（参考）自己資本 2025年8月期 1,393百万円 2024年8月期 476百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	290	△26	753	1,574
2024年8月期	1	△32	89	557

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	0.00	—	1.00	1.00	—	6.7	—

3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,069	25.1	150	40.0	148	60.7	120	7.5	14.90

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期	8,219,500 株	2024年8月期	6,716,400 株
② 期末自己株式数	2025年8月期	123,088 株	2024年8月期	132,800 株
③ 期中平均株式数	2025年8月期	7,835,951 株	2024年8月期	6,583,600 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
売上原価明細書	9
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(収益認識関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり緩やかな回復が見られましたが、為替相場の円安等による物価上昇、米国の通商政策の動向、不安定な国際情勢等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が事業展開する国内のソフトウェア市場におきましては、働き方改革や人手不足の解消などの課題解決に向けコミュニケーションの促進や業務の自動化・効率化につながるソフトウェアの導入や生成AIの活用による機能強化や高付加価値化が進み、2025年度は3兆628億円※1が見込まれております。また、フロントラインワーカーが働く最前線の現場においては、法人向けモバイル通信端末市場の拡大、AIや画像認識等の精度向上、ウェアラブルカメラ等ハードウェアの開発と導入コストの低減、5Gの普及による映像等大容量データの活用など、様々な分野のイノベーションの発展に伴い、さらなるDX化の拡大が期待されます。当社の提供するサービス「Buddycom」の国内における潜在市場規模については、約1,900億円と推計※2しております。当社は「フロントラインワーカーに未来のDXを提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる」ことをミッションに掲げ、「フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム」の新たな市場の創出を図りながら、開発・販売を行ってまいります。

このような経営環境のもと、当社の主力サービスであるBuddycomの開発及び販売に注力いたしました。売上高は順調に推移した一方、Buddycomの開発及び販売強化のための人員増加による採用費及び人件費の増加等により、販売費及び一般管理費も増加いたしました。

以上の結果、当事業年度における売上高は1,654,620千円（前年同期比39.7%増）、営業利益は107,256千円（前年同期営業損失31,275千円）、経常利益は92,700千円（前年同期経常損失34,000千円）、当期純利益は112,172千円（前年同期当期純損失31,848千円）となりました。

※1 株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2025年版」（2025年7月）

※2 国内における全ての潜在顧客、フロントラインワーカーに導入された場合の、顧客による年間支出総金額。
（日本のフロントラインワーカー人口（2025年4月の総務省統計局「2025年度 労働力調査年報」より当社推計）×ID当たりの平均年間課金額）

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

（Buddycom事業）

Buddycom事業におきましては、マーケティング強化による知名度の向上、営業人員の増強、代理店営業力の強化、SMB※1向けの販売強化等により契約社数は増加し、当事業年度末の契約社数は1,562社（前事業年度末1,077社）となり、ARR※2は1,068,797千円（前事業年度末739,058千円）となりました。以上の結果、当事業年度における、Buddycom利用料売上が908,785千円（前年同期比38.9%増）、アクセサリ売上が744,285千円（前年同期比41.7%増）となり、セグメント売上高は1,653,070千円（前年同期比40.2%増）、セグメント利益は105,937千円（前年同期セグメント損失35,786千円）となりました。

※1 SMB：Small and Medium-sized Businessの略称。当社では従業員数が500人未満の企業と定義。

※2 ARR：Annual Recurring Revenueの略称。各期末月のBuddycom利用料売上に12倍して算出。

（その他）

ALTIBASE事業を「その他」に含めております。ALTIBASE事業については、積極的には展開しない方針であり、当事業年度におけるその他の売上高は1,550千円（前年同期比71.4%減）となり、セグメント利益は1,318千円（前年同期比70.8%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(総資産)

当事業年度末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ1,124,348千円増加し、2,077,806千円（前事業年度末比117.9%増）となりました。

(流動資産)

当事業年度末における流動資産につきましては、前事業年度末に比べ1,082,137千円増加し、1,834,628千円（前事業年度末比143.8%増）となりました。

これは主に、現金及び預金の増加（前事業年度末比1,016,928千円増）、売掛金の増加（前事業年度末比50,145千円増）等によるものであります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産につきましては、前事業年度末に比べ42,210千円増加し、243,178千円（前事業年度末比21.0%増）となりました。

これは主に、敷金の差入による敷金の増加（前事業年度末比7,943千円増）、繰延税金資産の増加（前事業年度末比33,820千円増）等によるものであります。

(負債合計)

当事業年度末における負債合計につきましては、前事業年度末に比べ206,941千円増加し、683,834千円（前事業年度末比43.4%増）となりました。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債につきましては、前事業年度末に比べ226,367千円増加し、610,690千円（前事業年度末比58.9%増）となりました。

これは主に、前受収益の増加（前事業年度末比137,117千円増）、未払法人税等の増加（前事業年度末比36,133千円増）、買掛金の増加（前事業年度末比32,890千円増）、未払消費税等の増加（前事業年度末比17,536千円増）等によるものであります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債につきましては、前事業年度末に比べ19,425千円減少し、73,144千円（前事業年度末比21.0%減）となりました。

これは主に、長期借入金の減少（前事業年度末比12,996千円減）、繰延税金負債の減少（前事業年度末比6,730千円減）等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産につきましては、前事業年度末に比べ917,406千円増加し、1,393,972千円（前事業年度末比192.5%増）となりました。

これは、資本金の増加（前事業年度末比398,772千円増）、資本準備金の増加（前事業年度末比398,772千円増）、当期純利益計上による利益剰余金の増加（前事業年度末比144,020千円増）等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,574,273千円（前事業年度末比1,016,928千円増、182.5%増）となりました。また、当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動により獲得した資金は、290,705千円（前年同期は1,149千円の収入）となりました。

これは主に、前受収益の増加額137,117千円（前年同期は前受収益の増加額36,813千円）、税引前当期純利益92,700千円（前年同期は税引前当期純損失34,000千円）、仕入債務の増加額32,890千円（前年同期は仕入債務の減少額9,174千円）等の収入要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動により支出した資金は、26,883千円（前年同期は32,583千円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出18,939千円（前年同期は有形固定資産の取得による支出47,532千円）敷金の差入による支出7,943千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動により獲得した資金は、753,104千円（前年同期は89,024千円の収入）となりました。

これは、新株式の発行による収入767,208千円、長期借入金の返済による支出21,792千円（前年同期は長期借入金の返済による支出19,976千円）等によるものであります。

(4) 今後の見通し

世界的なインフレや為替の影響等、依然として先行きの不透明な状況が続くことが見込まれます。一方で、2025年8月期も当社の主力サービスであるBuddycomの契約社数及び利用ユーザー数は順調に増加しており、その需要は2026年8月期も堅調に推移するものと見込んでおります。

Buddycom利用料につきましては、引き続き鉄道会社、航空会社、GMS（General merchandise store＝総合スーパー）、医療・介護施設、工場、商業施設、大規模小売店舗、公共・自治体など、あらゆる業種・業態からの需要があり、新規顧客の獲得及び既存顧客のユーザー追加により利用ユーザー数は順調に増加することを想定しております。また、引き続きSMB（Small and Medium-sized Business＝中小・中堅企業）市場の開拓に注力することにより契約社数及びユーザー数の増加を想定しております。契約社数及び利用ユーザーの増加により、ARRは1,377,668千円（前事業年度末1,068,797千円）、Buddycom利用料売上は1,227,758千円（前年同期比35.1%増）を見込んでおります。

アクセサリーにつきましては、Buddycomの利用ユーザー数の増加に伴う売上、既存顧客の買い替えに伴う売上等を見込んでおります。Buddycomの利用ユーザー数は順調に増加し、既存顧客の買い替えも一定数発生することを想定しておりますので、アクセサリー売上につきましても堅調に推移することを見込んでおります。その結果、アクセサリー売上は833,596千円（前年同期比12.0%増）を見込んでおります。

販売費及び一般管理費につきましては、引き続きBuddycomの開発及び販売強化のための人員採用を継続するための人件費及び採用費、知名度向上のための広告宣伝費等を中心として増加することを見込んでおります。また、本社移転に伴って利用不能となる固定資産の耐用年数短縮による減価償却費の増加も見込んでおります。

以上の結果、2026年8月期の売上高は2,069,984千円（前年同期比25.1%増）、営業利益は150,180千円（前年同期比40.0%増）、経常利益は148,980千円（前年同期比60.7%増）、当期純利益は120,618千円（前年同期比41.9%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を採用することとしておりますが、将来的なIFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	562,344	1,579,273
売掛金	101,368	151,513
商品	65,492	60,042
貯蔵品	7	8
前払費用	23,266	43,735
その他	11	54
流動資産合計	752,490	1,834,628
固定資産		
有形固定資産		
建物	98,029	99,554
減価償却累計額	△14,851	△23,790
建物（純額）	83,178	75,764
車両運搬具	2,245	10,905
減価償却累計額	△1,543	△3,007
車両運搬具（純額）	701	7,898
工具、器具及び備品	28,934	35,606
減価償却累計額	△7,103	△12,585
工具、器具及び備品（純額）	21,830	23,021
土地	3,007	3,007
有形固定資産合計	108,718	109,690
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
長期前払費用	2,407	2,040
敷金	61,773	69,717
繰延税金資産	—	33,820
その他	18,068	17,908
投資その他の資産合計	92,249	133,487
固定資産合計	200,968	243,178
資産合計	953,458	2,077,806

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,302	40,193
1年内返済予定の長期借入金	48,933	40,137
未払金	37,109	36,869
未払費用	30,395	39,292
未払法人税等	530	36,663
未払消費税等	20,218	37,755
預り金	6,316	9,225
前受収益	233,434	370,552
その他	82	—
流動負債合計	384,322	610,690
固定負債		
長期借入金	40,091	27,095
繰延税金負債	6,730	—
資産除去債務	45,749	46,049
固定負債合計	92,570	73,144
負債合計	476,892	683,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,121	450,894
資本剰余金		
資本準備金	2,121	400,894
その他資本剰余金	779,830	787,247
資本剰余金合計	781,951	1,188,141
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△353,756	△241,584
利益剰余金合計	△353,756	△241,584
自己株式	△3,750	△3,479
株主資本合計	476,565	1,393,972
純資産合計	476,565	1,393,972
負債純資産合計	953,458	2,077,806

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	1,184,775	1,654,620
売上原価	506,706	644,625
売上総利益	678,068	1,009,995
販売費及び一般管理費	709,344	902,739
営業利益又は営業損失(△)	△31,275	107,256
営業外収益		
受取利息	50	1,942
補助金収入	40	—
その他	6	112
営業外収益合計	97	2,054
営業外費用		
支払利息	1,619	1,667
為替差損	1,199	738
株式交付費	—	14,011
その他	2	193
営業外費用合計	2,821	16,610
経常利益又は経常損失(△)	△34,000	92,700
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△34,000	92,700
法人税、住民税及び事業税	530	21,078
法人税等調整額	△2,681	△40,551
法人税等合計	△2,151	△19,472
当期純利益又は当期純損失(△)	△31,848	112,172

売上原価明細書

		前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)		当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 商品仕入等	※1	374,933	73.0	463,540	70.7
II 労務費		24,168	4.7	35,568	5.4
III 経費		114,182	22.2	156,785	23.9
小計		513,283	100.0	655,894	100.0
商品期首棚卸高		76,743		65,492	
合計	※2	590,027		721,386	
商品期末棚卸高		65,492		60,042	
他勘定振替高		17,828		16,718	
当期売上原価		506,706		644,625	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
サーバー費用	59,716	85,500
支払手数料	46,172	59,716
地代家賃	3,849	4,318
減価償却費	957	1,185

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
販売促進費 (販売費及び一般管理費)	17,828	16,718

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計			
					繰越利益 剰余金				
当期首残高	52, 121	2, 121	779, 830	781, 951	△321, 908	△321, 908	△3, 750	508, 414	508, 414
当期変動額									
当期純損失					△31, 848	△31, 848		△31, 848	△31, 848
当期変動額合計	—	—	—	—	△31, 848	△31, 848	—	△31, 848	△31, 848
当期末残高	52, 121	2, 121	779, 830	781, 951	△353, 756	△353, 756	△3, 750	476, 565	476, 565

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計			
					繰越利益 剰余金				
当期首残高	52, 121	2, 121	779, 830	781, 951	△353, 756	△353, 756	△3, 750	476, 565	476, 565
当期変動額									
新株の発行（第三者 割当増資）	390, 610	390, 610		390, 610				781, 220	781, 220
新株の発行（譲渡制 限付株式報酬）	8, 162	8, 162		8, 162				16, 325	16, 325
当期純損失					112, 172	112, 172		112, 172	112, 172
自己株式の処分			7, 417	7, 417			282	7, 700	7, 700
自己株式の取得							△11	△11	△11
当期変動額合計	398, 772	398, 772	7, 417	406, 189	112, 172	112, 172	271	917, 406	917, 406
当期末残高	450, 894	400, 894	787, 247	1, 188, 141	△241, 584	△241, 584	△3, 479	1, 393, 972	1, 393, 972

(注) 2024年10月31日を払込期日とする第三者割当増資による新株式1,474,000株（発行価額1株につき530円）の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ390,610千円増加しております。

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△34,000	92,700
減価償却費	13,640	15,884
受取利息及び受取配当金	△50	△1,942
補助金収入	△40	—
為替差損益 (△は益)	4	△1
支払利息	1,619	1,667
株式交付費	—	14,011
売上債権の増減額 (△は増加)	△35,365	△50,145
棚卸資産の増減額 (△は増加)	11,264	5,448
前払費用の増減額 (△は増加)	△5,755	△3,788
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,174	32,890
未払金の増減額 (△は減少)	9,632	1,842
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,623	8,896
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	—	15,540
前受収益の増減額 (△は減少)	36,813	137,117
預り金の増減額 (△は減少)	2,759	2,909
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,218	17,536
その他	2,120	334
小計	3,063	290,904
利息及び配当金の受取額	50	1,942
補助金の受取額	40	—
利息の支払額	△1,714	△1,654
法人税等の支払額	△290	△485
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,149	290,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,532	△18,939
資産除去債務の履行による支出	△7,530	—
敷金の差入による支出	—	△7,943
敷金の回収による収入	26,178	—
その他	△3,700	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,583	△26,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
短期借入金の返済による支出	—	△50,000
長期借入れによる収入	109,000	—
長期借入金の返済による支出	△19,976	△21,792
株式の発行による収入	—	767,208
自己株式の取得による支出	—	△11
自己株式の処分による収入	—	7,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	89,024	753,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	57,584	1,016,928
現金及び現金同等物の期首残高	499,759	557,344
現金及び現金同等物の期末残高	557,344	1,574,273

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	Buddycom事業	計		
Buddycom利用料売上	654, 209	654, 209	—	654, 209
アクセサリ売上	525, 152	525, 152	—	525, 152
その他	—	—	5, 414	5, 414
顧客との契約から生じる収益	1, 179, 361	1, 179, 361	5, 414	1, 184, 775
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1, 179, 361	1, 179, 361	5, 414	1, 184, 775

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	Buddycom事業	計		
Buddycom利用料売上	908, 785	908, 785	—	908, 785
アクセサリ売上	744, 285	744, 285	—	744, 285
その他	—	—	1, 550	1, 550
顧客との契約から生じる収益	1, 653, 070	1, 653, 070	1, 550	1, 654, 620
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1, 653, 070	1, 653, 070	1, 550	1, 654, 620

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主たる事業であるBuddycom事業の売上高が、全体の90%以上を占めております。

従って、当社は「Buddycom事業」単一の報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「Buddycom事業」は、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」の開発及び販売、イヤホンマイクやヘッドセットなどのアクセサリの販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。また、報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失ベースの数値であります。

報告セグメントに帰属しない固定資産については全社資産として管理しておりますが、減価償却費につきまし

ては、関係する事業セグメントの利用状況等を総合的に勘案して配賦基準を算定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,179,361	1,179,361	5,414	1,184,775	—	1,184,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,179,361	1,179,361	5,414	1,184,775	—	1,184,775
セグメント利益又は損失 (△)	△35,786	△35,786	4,510	△31,275	—	△31,275
セグメント資産	180,527	180,527	26	180,554	772,904	953,458
その他の項目						
減価償却費	13,578	13,578	61	13,640	—	13,640
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	—	—	—	9,471	9,471

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業になります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは運用資金（現金及び預金）及び管理部門等に係る資産等であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,653,070	1,653,070	1,550	1,654,620	—	1,654,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,653,070	1,653,070	1,550	1,654,620	—	1,654,620
セグメント利益	105,937	105,937	1,318	107,256	—	107,256
セグメント資産	224,925	224,925	17	224,943	1,852,863	2,077,806
その他の項目						
減価償却費	15,870	15,870	14	15,884	—	15,884
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	—	—	—	16,857	16,857

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業になります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは運用資金（現金及び預金）及び管理部門等に係る資産等であります。

3. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	72.39円	172.17円
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△4.84円	14.32円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	14.30円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
(1) 1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)		
(算定上の基礎)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△31,848	112,172
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△31,848	112,172
普通株式の期中平均株式数(株)	6,583,600	7,835,951
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	10,040
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	476,565	1,393,972
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	476,565	1,393,972
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	6,583,600	8,096,412

(重要な後発事象)

(本社移転)

当社は、2025年10月15日開催の取締役会において、本社を移転することを決議いたしました。本社移転の概要につきましては以下のとおりです。

1. 移転先

東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60 24階

2. 移転時期

2027年4月(予定)

3. 移転理由

事業拡大に伴う人員増加に備えた、執務スペースの確保及び業務効率化を図ることを目的としております。

4. 業績に与える影響

本社移転に伴う概算費用については現在精査中ですが、2026年8月期において、本社移転に伴う一時的な費用として、既存設備等の加速償却費用43,164千円を計上する見込みであります。